

イワダレゴケ科

ミヤマリュウビゴケ

Hylocomiastrum pyrenaicum (Spruce) M. Fleisch. ex Broth.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… —

■ 県内分布

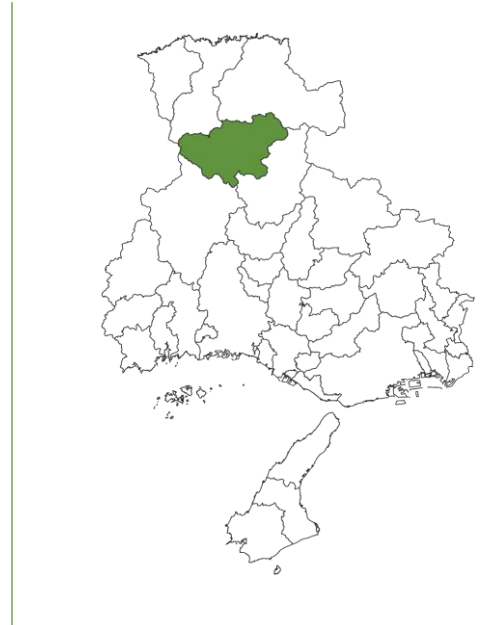
養父市

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

今後の調査により、氷ノ山を中心に産地が増える可能性がある。現状の調査が必要である。



写真提供: 秋山弘之

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

大型で、茎は赤褐色、不規則な羽状に分枝するが、シノブヒバゴケとは異なり階段状にならない。葉はゆるく覆瓦状につき茎には細く枝分かれした多くの毛葉がある。茎葉は長さ1.5-2mm、卵形で基部はやや狭まり、深い縦じわがあり、先は急に短く尖る。葉縁の上半に鋭い歯がある。中肋は1本で細く、葉の中部ときに葉長の約3/4に達する。枝葉は長さ1.5-2mm、披針形で鋭頭、縦じわはほとんどなく、中肋は葉長の3/4に達し、背面上端は刺で終わる。葉身細胞は長楕円形から線形、平滑。基部の細胞は幅広くて褐色。日本では萌はまれ。山地の日陰の地上や岩上に生育する。